

■H21 年度 第1回 博物館協議会 要点録■

日 時：平成21年10月7日（水） 13：30～

会 場：長浜城歴史博物館 展示室・研修室

出席者：嶋田委員、小和田委員、木村委員、中島委員

長浜城歴史博物館：中島（館長）、森岡、太田、北村、橋本、田上、山口

開会：13：30

北村：それでは定刻になりましたので、ただ今から平成21年度第1回長浜城歴史博物館協議会を開会いたします。皆様方にはご多用のところをご参集賜り厚くお礼申し上げます。私は本日の司会を担当いたします（北村）です。どうぞよろしくお願いいたします。

長浜城歴史博物館館長の中島からあいさつもうしあげます。

挨拶：中島（館長）

司会：企画展の展示見学・説明に入りたいと思いますので、展示室へお願いします。

太田：企画展「企画展「中川泉三没後70年展－史学は死学にあらず－」説明 2階展示室

森岡：企画展「石田三成と西軍の関ヶ原合戦－石田三成の刀剣と甲冑－」説明 3階展示室

司会：博物館管理規則第10条第3項会長は、会務を総括し、会議の議長となる。とありますので嶋田会長に議長をお願いします。それでは、嶋田会長お願いします。

嶋田委員：ご指名により議長を務めさせていただきます。議事進行につきましては、皆様のご協力をお願いいたします。それでは早速議事に入らせていただきます。平成21年度事業についてまず企画展関係の説明をお願いします。

木村委員：限られたスペースの中で、中川泉三を展示している。また、中身がとても充実している。

観光客には興味がないかもしれないが、学芸員の研究、調査の成果が出ている展示である。

小和田委員：中川泉三展ですが、浅井史を研究していくうえで、中川泉三が行った仕事が出発点、基礎となっている。その業績というか足跡を一同に見せてもらったのはとても良い機会を与えてもらった。地味な展示ではあるが、いろいろ教えられることが多い。また、中川泉三の交流の深さを初めて知った。今までは、文士としてしか見ていなかった。地方にありながら中央の研究者と交友を図り、歴史が単なる歴史ではない中央のなかでの地方という形で研究した方なんだなと改めて感じた。また、石田三成の展示については、今年大河ドラマ「天地人」で石田三成が直江兼続の盟友ということで、再評価された。反面徳川家関係の人からはちょっと納得がいかないと怒られたりしたのですが、三成が正当に評価されたという中で、重要文化財のほんものの甲冑、刀剣が展示されているのは、観光客だけでなく、地元の人にとっても見るべき価値のある展示ではないかと思う。そうした中で、展示に関する書いた物がないのは、惜しいことである。

中島委員：中川泉三という人は、私が歴史学について興味をもった時から知っている人である。しかし、中村林一先生が、中川泉三についてひとことおっしゃったことが心にひかかっている。中村先生が「わからないところを自分で鎖国してしまうところがある」とあまり良いことを聞かなかった。中村先生は、「潤徳安民碑で全く関係のない宮川藩を悪者にして仲直りをさせたことになっている。これは、うそである。」といていた。しかし、私自身は、波風たたないようによく治めたと思っている。湖北の礎をつくってくれた人なのに悪くいわれることは少し残念である。

嶋田委員：石田三成の展示について、地元石田町の人々が三成を世に知らしたいという気持ちが大きかった。しかし、なかなか石田三成の評判がいいものにはならなかった。歴史というものは、一度流れてしまえばなかなか変えられない。

中島委員：最近の風潮としては、石田三成の評判はとてもよろしい。若い女性にとってもよい。週刊誌には、現在の歴史ブームは若い女性でもっている。特にその中に三成の名前が出ていました。もちろん直江兼続も出ていました。

議長：それでは、次の議題へ進みたいと思います。事務局よろしく申し上げます。

橋本：平成21年度博物館事業実績及び計画について説明

議長：引き続き友の会事業の説明もお願いします。

田上：平成21年度友の会事業実績及び計画について説明

中島委員：とてもたくさんの事業をありがとうございます。他の博物館をあまり知らないのですが、こんなに事業を行っているのでしょうか？彦根や高月はどうでしょうか？

館長：彦根の場合は、事業は少ない。最近では、講座などを受け持つ傾向にあります。高月の資料館については、合併し長浜城歴史博物館の管轄になりますので、今までのようにはいかないと思います。

嶋田委員：歴史探究ハイクの湖北地域の庭園探訪に赤田氏庭園とありますが、このような名庭はあちらこちらにあるのでしょうか？

北村：この3月に名勝に指定された庭園で、多くの名庭が寺院の庭園であるのに対し、赤田氏庭園は個人の庭であることが特徴です。この赤田氏は、戦国武将赤田氏の末裔といわれている方で、その方が今日まで個人で管理されてきた庭園です。この庭園を見学し、上草野の文化財を訪れ草野川沿いの爽やかな空気をすいながらハイキングを行うという目的で企画しました。

議長：他になにかございせんか。

北村：先に申しておくべきだったのですが、先ほど友の会事業の報告をした職員の紹介を行いたいと思います。今年度長浜市と友好都市を結んでいる西之表市から人事交流で長浜城歴史博物館に1年間希望し勤務している田上と申します。

田上：鹿児島県種子島の西之表市から1年間来ております。よろしく申し上げます。

木村委員：とてもすばらしい、いい話です。国友鉄砲もあることですし、長浜のすばらしいところです。

議長：時間の関係もありもすので、長浜市歴史文化施設の将来像についてお願いします。

館長：このことにつきましては、具体的に博物館のおかれた現在の環境と関係があります。一つ目として、来年1月1日に合併をします。現在は5資料館の管理原課となっておりますが、これが合併することにより、11資料館の管理原課となります。主にソフト面の指導を行っていきます。現在5資料館を管理することによりかなり厳しいものがあるのに、11資料館となりと一体どうなるのか危惧しています。そこで、長浜城歴史博物館がそれだけの資料館を統括していくために将来の展望を描いてみたものです。

(3) 長浜市歴史文化施設の将来像について

(4) 今後の博物館活動への意見・提言 その他

(5) 展示情報委員会資料内覧および購入予定資料

4 閉会

資 料

1. 長浜市長浜城歴史博物館協議会委員名簿

2. 平成21年度の事業について

- ◆平成21年度長浜城歴史博物館事業上半期実績・下半期計画について

P 3～P19

- ◆平成21年度 長浜城歴史博物館友の会上半期実績・下半期計画について

P19～P25

- ◆長浜市歴史文化施設の将来像について

P26～P33

3. その他

- ◆その他資料

- ・図録「史学は死学にあらず」
- ・関ヶ原合戦図復元図
- ・石田三成と直江兼続年表
- ・企画展「石田三成と西軍の関ヶ原合戦」展示解説シート
 - ①－石田三成と湖北長浜－
 - ②－石田三成と安国寺恵瓊・小西行長－
 - ③－石田三成と大谷吉継－
 - ④－石田三成の刀剣と甲冑－

- ◆友の会だより（113号～120号）